

# 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名

SunKids

|          |    | チェック項目                                                                                                                       | はい | いいえ | 工夫している点                                                    | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                           |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                                                                                    | 9  |     | 広いスペースは確保されている。感染等が生じた場合はサークルで区別できている。                     | 基準よりも生活介護事業へ向け、より広いスペースがある。それぞれが整理整頓を心掛けながら、仕事を行う。 |
|          | 2  | 職員の配置数は適切である                                                                                                                 | 9  |     | 医ケア児に対しての看護師の人数                                            | 送迎時の人員の工夫をおこなう。                                    |
|          | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている                                               | 9  |     |                                                            |                                                    |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている                                                                           | 9  |     | 掃除やアルコール消毒の実施。おもちゃ等は整理されており消毒等も行っている。                      |                                                    |
| 業務改善     | 5  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                                                                                  | 9  |     | 全員で行えるようにする。                                               |                                                    |
|          | 6  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                                                                | 9  |     | 保護者の意向の共有ができています。                                          |                                                    |
|          | 7  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | 9  |     |                                                            |                                                    |
|          | 8  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                                                                                               | 3  | 6   |                                                            | わからない。第三者による外部評価できてない。施設内ではできている。                  |
|          | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                                                                                  | 9  |     | 定期的な勉強会・研修は実施できている。                                        | ヒヤリハットや急変対応等の実技もあっていいと思う。                          |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している                                                                       | 9  |     | モニタリングや計画書を作成し、保護者に伝えている。リハビリでは訪問での状況も踏まえて予後予測し訓練計画を行えている。 | 事前に要望シートを記入してもらい計画を立案している。                         |
|          | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                                                                     | 6  | 3   |                                                            | 今後、標準化されたアセスメントツールを検討する                            |
|          | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 9  |     |                                                            |                                                    |
|          | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている                                                                                                        | 9  |     |                                                            |                                                    |
|          | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                                                                                         | 9  |     | 全体で話し合っている。保育は保育士・児童指導員が主にプログラムしている                        | 支援計画に沿って実施している。                                    |
|          | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                                                                                       | 9  |     | 季節や時期に合った活動内容が行えるように工夫している。                                |                                                    |
|          | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している                                                                                  | 8  | 1   | 子ども達の体調により集団実施、また野外活動等も行っている。                              | 集団活動は少ない。子ども達の体調等考慮して行っています。                       |

|              |    | チェック項目                                                                                               | はい | いいえ | 工夫している点                                       | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                        |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
|              | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                                       | 8  | 1   |                                               | できている人、できていない人で差があるので、朝の情報共有以外にも子どもの発達状況等、話し合えるカンファレンスの場があるとよい。 |
|              | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                                                  | 7  | 2   |                                               | 勤務時間も異なることもあり出来ていない。終了後、全体で行えていないため振り返りの時間を設ける。                 |
|              | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                                                                 | 9  |     | Googleカレンダーの連絡、特記事項にて記録                       |                                                                 |
|              | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している                                                                | 9  |     | 3カ月、6カ月と定期的に行っている。                            |                                                                 |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                                                    | 9  |     | コロナ禍によりFAXでのやり取りだがふさわしい者が返答を行っている。            |                                                                 |
|              | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている                                                                | 8  | 1   | 療育センター等、他の機関との連携を行っている                        | 関係機関との連携はあるが母子保健や子ども・子育て支援との連携はないので情報収集を行う。                     |
|              | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている                          | 8  | 1   |                                               | コロナ禍の為、今後検討保育園や教育関連機関には、関わっていない。                                |
|              | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている                                      | 9  |     | 指示書の発行をお願いしている。                               |                                                                 |
|              | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                       | 6  | 3   |                                               | 移行する場合は情報共有を行っていく                                               |
|              | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                                    | 6  | 3   | 学校公開日やイベント等に見学・参加し、学校での子ども達の様子や支援について情報収集を行う。 | まだ、対象となる利用児がいない。                                                |
|              | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                                             | 8  | 1   | 療育センター主催の研修に参加                                | 重心児の集まりや医ケア・居宅・児発等の研修参加。情報交換等を行っている。                            |
|              | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある                                                              | 3  | 6   | 今後実施予定(多の津保育園園長先生へ交渉中)                        |                                                                 |
|              | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                                                              | 3  | 6   |                                               | 開催されていない。徐々に参加できるようになってきている。                                    |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                                       | 9  |     | Googleカレンダーや送迎時、家庭訪問等で情報共有を行っている。             |                                                                 |
|              | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている                                           | 5  | 2   |                                               | 必要時支援を行っていく。                                                    |
|              | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                                                           | 9  |     | 契約時に説明を行っている。                                 |                                                                 |
|              | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 9  |     |                                               |                                                                 |

|            |    | チェック項目                                                                     | はい | いいえ | 工夫している点                                   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                                        |
|------------|----|----------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                              | 8  | 1   |                                           | 頻度は少ないのかなと思う。                                                   |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                               | 9  |     | 交流会により保護者の連携を支援している。                      | コロナ禍もあり多くはできていないが、イベントはできている11月に家族交流会を行っており家族同士も情報交換のできる機会になった。 |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 9  |     | 情報共有も行い、話し合いをし、対応している。                    |                                                                 |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                           | 8  | 1   | 年間行事・活動概要等、活動カレンダーやおたより、メールでの発信でお知らせしている。 | 活動状況などは連絡帳にて行っている。季節ごとに会報等もあってもいいように思う。                         |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している                                                          | 9  |     | 鍵をかけて保管している。                              |                                                                 |
|            | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                        | 9  |     |                                           |                                                                 |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                         | 8  |     | 地域交流会を開催した。公民館の使用やバザーに参加                  |                                                                 |
| 非常時等の対応    | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | 7  | 2   |                                           | 今後保護者も交えて行っていく。詳しくできてない。                                        |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                         | 9  |     | 年2回以上実施。                                  |                                                                 |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している                                          | 9  |     | 保護者より連絡をいただいて確認している。                      |                                                                 |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | 8  | 1   | 医療的ケア児が対象の為、指示書を記入してもらっている。               | 対象者なし。                                                          |
|            | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している                                                  | 6  | 3   | 小さな気付きも共有できるようにしていく。LINE等で共有はできている。       | ヒヤリハット事例を用いた勉強会などもあるとよいと思う                                      |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                         | 9  |     | 勉強会にて共有することが出来た                           | 研修機会の確保                                                         |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 6  | 3   |                                           | やむを得ず行う場合を決定しておらず、全体で統一する。                                      |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。